

こちバス新聞

蜷川「であいの里」 モーニングサービス お手伝いツアー編

平成24年12月19日発行



「蜷川モーニング」は心も体も 和やかあったか♪

12月16日（日）、高知大学の1年生5人が黒潮町蜷川地区の「であいの里蜷川」で行われている「蜷川モーニング」のお手伝いに伺いました。これは閉校になった小学校を利用して、地元の女性たちが毎月第1・3日曜・月曜に行っているものです。当日参加したのは9月に蜷川で行われた地域協働入門Ⅱに参加した学生など。エプロンと三角巾に着替えて早速盛り付けや配膳、注文取りなどスタッフのおばちゃん達の指示のもとでフル稼働。

ヨソイキのおもてなしより、普段着のサービスを。

特に参加者の心に残ったのは「おもてなす」側とお客さんとの距離の近さ。「みんな優しい人ばかりで和やかに過ごすことが出来ました」との感想が異口同音に聞かれました。

これは運営している女性グループのリーダー・金子広子さんの大事にしていることでもあります。「地産地消で自分たちもお客さんも安心して食べられるものを出したいし自分たちの足元にあるものを大切にしたい。だから地産地消にこだわっています。お客さんには自然体で接する。よそいきなことをしても続かんでしょう」。

金子さんからは蜷川のここまでの取り組みやこれから挑戦してみたい事などを伺いました。学生の心には「何とか形にするお手伝いをしたい」との想いも芽生えたようです。

